



## 第6章 施策の持続的な実施に向けた目標値設定

本章では、施策の持続的な実施に向けた評価指標及び目標値を整理するとともに、目標値の測定方法や評価のスケジュールを整理します。

### 6-1 評価指標及び数値目標

本計画及び施策の推進状況を確認するため、以下の目標値を設定し、計画及び施策の進捗確認を行います。

表 6-1 評価指標及び数値目標

評価指標	単位	現況値	目標値				
		令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)
タクシー利用者数	人/年度	7,823 (※1)	7,800 (※3)	9,000	9,000	9,000	<b>9,000</b>
市街地巡回バスの利用者数	人/便	—	2.5 (※3)	2.5	2.5	3.0	<b>3.0</b>
まちバス利用者数	人/年度	13,808 (※1)	14,000	14,000	14,000	14,000	<b>14,000</b>
生活移動のための支援事業費用	千円/年度	91,386	97,000	93,400	93,400	93,400	<b>93,400</b>
市街地巡回バス収支率	%/年度	15% (※4)	20% (※3)	20%	20%	25%	<b>25%</b>
町外交通利用者数	千人/年度	115	101	101	101	101	<b>101</b>
意識醸成の場や機会の創出回数	回/年度	0	2	2	2	2	<b>2</b>
免許返納者数	人/年度	8	10	10	15	15	<b>20</b>
広報での周知回数	回/年度	0	2	2	2	2	<b>2</b>
通学時間帯における町外交通との接続状況	—	—	—	—	—	—	—
二一ズ把握の状況	—	—	—	—	—	—	—
公共交通に対する住民満足度	%/年度	70.1% (※1)	71.0%	—	73.0%	—	<b>75.0%</b>
75歳以上の医療費用(加せぐわ-効果)	千円/年	952 (※1)	970	960	960	960	<b>960</b>

※1：令和元年度データを参考

※2：平成30年度データを参考

※3：対象となる事業を令和3年12月から実施想定

※4：令和元年度巡回ワゴン実証実験結果から推計



### 6-2 数値目標の測定方法

数値目標の評価に必要なデータの測定方法を以下に整理します。

表 6-2 数値目標の測定方法

データ測定方法	調査手法概要等
タクシー利用者数	交通事業者からの提供データ等による把握
市街地巡回バスの利用者数	運行実績から把握
まちバス利用者数	運行実績から把握
生活移動のための支援事業費用	運行実績から把握
市街地巡回バス収支率	運行実績から把握
町外交通利用者数	交通事業者からの提供データ等による把握
意識醸成の場や機会の創出回数	取組実施回数のカウント
免許返納者数	北海道警察からの提供データ等による把握
広報での周知回数	広報の内容を整理し把握
通学時間帯における町外交通との接続状況	各公共交通の時刻表での検証
二一ズ把握の状況	公共交通に係る問合せ件数等を整理し把握
公共交通に対する住民満足度	津別町住民満足度調査で調査項目を設定し把握
75歳以上の医療費用（クロスセクター効果）	統計資料等を整理し検証



6-3 数値目標の評価スケジュール

数値目標の評価スケジュールを以下に整理します。

表 6-3 数値目標の評価スケジュール

数値目標	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)
タクシー利用者数	●	●	●	●	●
市街地巡回バスの利用者数	●	●	●	●	●
市街地巡回バスの利用率	●	●	●	●	●
まちバス利用者数	●	●	●	●	●
生活移動のための支援事業費用	●	●	●	●	●
市街地巡回バス収支率	●	●	●	●	●
町外交通利用者数	●	●	●	●	●
意識醸成の場や機会の創出回数	●	●	●	●	●
免許返納者数	●	●	●	●	●
広報での周知回数	●	●	●	●	●
通学時間帯における町外交通との接続状況	●	●	●	●	●
ニーズ把握の状況	●	●	●	●	●
公共交通に対する住民満足度	●	—	●	—	●
75歳以上の医療費用(クロスセクター効果)	●	●	●	●	●

● : 評価実施